

## (社) 東洋療法学校協会アンケート調査から考えること

社団法人東洋療法学校協会  
会長 後藤 修司

平成8年の調査(以下第1回調査)に引き続き平成13年に行った学校協会のアンケート(以下第2回調査)をみて、主だった点について感じたことを述べたいと思います。第2回調査は、調査客体数9284件で、回収率33%(3090件の回答数)であった。

1. 男女比は、男子：女子=1.67：1、前回は男子：女子=1.97：1であったので、女性の比率が高くなってきている。年齢別に見ると、25~29歳層で、男性の比率が最も高い傾向があるが(61.4%)、第1回(72.8%)より減ってきている。また、男性比率はすべての年齢層で減少している。女性の比率が最も高いのは、21~24歳層であり(43.1%)、第1回では、この年齢層は36.1%であった。その他、女性比率が増しているのは、25~29歳層(26.6% → 30.9%)であり、その他の年齢層では比率が減っている。全体では25~29歳層が最も多く、男性は20歳後半が多く、女性は20歳前半が多い。平均年齢をみると、32.9歳であり、第1回(32.6歳)とほぼ同様である。

2. 実務に従事している人は、84.5%であり、第1回(84.2%)とほぼ同様であった。卒業年次別の従事者率には、有意な差はないようである。また、男性(87.3%)は、女性(80.4%)より高く、また、年齢別では40~44歳層が最も高い(87.2%)が、いずれも有意な差ではないようである。従事していない人は、14.7%であり、第1回(15.1%)よりやや減少した。卒業後免許を取得し、8割強が、その仕事に従事しているのは、学校協会加盟校の社会的使命である、専門職種の育成と言うことには十分答えていると思われる。従事している内容をみても、かなりの変化が見られる。開業している人が、前回(21.4%)より、大幅に増加している(32.4%)。本人のみで開業している割合は71.5%となっており、前回の86%より減少し、1人雇用しているのが、5.6%から12.3%に増加している。平均患者数は、1日平均9.6人であり、第1回の11.1人より少なくなっている。勤務者の状況を見てみると、病院・医院が30.4%と、第1回の時(19.4%)より、大幅に増えている。また、あはき関連の治療院勤務が合計27.8%と、第1回(18.9%)より増えている。そして、柔道整復との併設治療院勤務者も、第1回では合計18.9%だったものが、今回は合計27.7%と増えている。勤務者が、自分で担当している一日の平均患者数は、16.1人であり、第1回(18.6人)より減少している。開業・勤務共に取扱い患者数は減少傾向である。医療機関への就職増加は、その業務内容までは確実に把握できていないものの、これからの一つの流れであると思われる。

3. 報酬又は給与をみると、全体平均で20.1万円は、第1回(20.4万円)とほぼ同様であるが、卒業後1~5年目の修行中の身である人が多いことを勘案しても、平均年齢32.9歳ということから考えると、低いと言わざるをえない。社会保障政策上の問題解決や、社会の健康ブーム・癒しブーム・代替補完統合医療ブームといったトレンドを、しっかり取込む方策が必要かと思う。

4. 取扱い患者の症状は、上位から、第1回との比較を見てみると、腰痛（第1回 93.4% → 第2回 92.7% 以下同順）、肩こり（81.7% → 80.4%）、膝関節疾患（62.4% → 63.2%）、下肢痛（60.6% → 60.4%）、肩関節疾患（42.5% → 48.8%）、頸腕症候群（41.2% → 29.3%）、不定愁訴・自律神経失調症（17.3% → 26.9%）、健康管理（15.4% → 15.2%）、頭痛（12.5% → 14.6%）、スポーツ障害（14.2% → 13.9%）、婦人科疾患（6.8% → 6.6%）などとなっている。ほぼ傾向は変わらないが、不定愁訴・自律神経失調症が増えていることが目立つ。カリキュラムのあり方や臨床実習のあり方への参考となるものである。

5. 学会・業界への入会状況をみると、何らかの学会への入会が 19.6%、業界への入会も 21.3%という低さは、社会的専門職としての自覚を持たせるようにすべき教育機関の問題か、それとも学会や業界の在り方の問題なのか。

全国にまたがる学校協会加盟校卒業生の3~4割が回答してきてくれているのは、卒業した学校に何かを期待していることの現われかと思えます。学会や業界への加入率が低いことを考え合わせると、学校は、卒業生への呼びかけや、情報提供にもっと力を注いでいくべきなのかもしれません。ともあれ卒業生達は、それぞれの場所で、まだまだ必ずしも報われてはいないかもしれないけれども、一所懸命がんばっている姿が浮かんでくる調査結果だったと思えます。私達は、入学希望者のニーズ・社会のニーズをしっかりと把握し、特に確実に起こってきている深いところでのトレンドをしっかりと見ながら、絶えざる教育改革を果たしながら。社会とのかかわりが常に意識できて、保健医療福祉関係プロフェッションとしての職業倫理の発揚がはかれるような教育環境の提供に、益々力を注いでいくべき時代ではないかと思えます。最後に、関係各位・各校のご協力に心からお礼申し上げます。

## 目 次

(社) 東洋療法学校協会アンケート調査から考えること…… 社団法人東洋療法学校協会  
会長 後藤 修司

第1編 調査の概要	1
第2編 調査結果の概要	3
1. 調査対象者数と回答数	3
2. 調査結果の分析	4
(1) 回答者の性別分布	4
(2) 免許の種別	5
(3) 合格年次	6
(4) 実務に従事の有無	7
(5) 実務に従事していない理由	9
(6) 開設・勤務の状況	10
(7) 開設している治療院の種別	11
(8) 勤務先の種別	13
(9) 報酬または給与	15
(10) 取扱患者の主な症状	17
(11) 学会等の入会状況	18
(12) 業界団体の加入状況	19

## 第1編 調査の概要

### 1. 調査の目的

あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師等に関する法律(昭和22年12月20日法律第217号)の一部を改正する法律(昭和63年5月31日法律第71号)の施行に伴う新制度における学校・養成施設の卒業者が、国家試験に合格し、免許所得後どのような進路をとり、就職活動及び社会活動の場を選択しているか、平成8年10月実施の第1回調査以降の状況について今回再び実態調査を行い、今後の学校教育・学校経営に資する基礎資料を得ることを目的とした。

### 2. 調査の対象及び調査客体

本調査は、(社)東洋療法学校協会加盟の会員校卒業生で、第5回から9回までの国家試験に合格し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の免許を取得した者(約10,000名)を調査対象とし、転居先不明者等を除き、確認のできた者を調査客体とした。

### 3. 調査の実施方法

本調査は、当学校協会加盟校のうち該当者のある会員校において、予め名簿(卒業年次ごとの氏名、住所など)を作成し、その名簿に基づき、当該学校からおのおのの対象者宛に調査票を郵送して実施した。

### 4. 調査の実施期日及び調査票提出日

本調査の実施期日は平成13年10月1日とし、調査票の提出は平成13年10月10日までとして返信用封筒により調査票の回収を行なった。

### 5. 調査票及び同記入要領

別紙(あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師免許取得者の進路状況アンケート調査票及び同記入要領)のとおりである。

### 6. 調査及び集計委託機関

この調査の企画立案は、(社)東洋療法学校協会広報部広報委員会が担当した。なお、調査票の集計・分析は(株)日本リサーチセンターに委託した。

## 7. 広報部広報委員会委員

委員長	箭内 正明(東洋療法学校協会)
副委員長	久木田 隼人(鹿児島鍼灸専門学校)
委員	平 英 治(北海道鍼灸専門学校)
	秋 山 皖(東京医療専門学校)
	石 黒 学(早稲田医療専門学校)
	年末 仁信(東京医療福祉専門学校)
	菅原 之人(東京衛生学園専門学校)
	高橋 大希(東京衛生学園専門学校)
	光澤 弘(日本鍼灸理療専門学校)
	西田 明生(長生学園)
	黒沢 純一(日本指圧専門学校)
	広門 靖正(国際鍼灸専門学校)
	平川 雅一(両国柔整鍼灸専門学校)
	小林 義明(関東鍼灸専門学校)
	塩田 利夫(湘南医療福祉専門学校)
	山室 正美(神奈川衛生学園専門学校)
	城 茂 高(東海医療学園専門学校)
	永山 浩(呉竹鍼灸専門学校)
	兵藤 平(名古屋鍼灸学校)
	森 輝 久(中和医療専門学校)
	川崎 茂元(佛眼鍼灸理療学校)
	長谷川 紀代子(行岡鍼灸専門学校)
	松岡 憲二(明治東洋医学院専門学校)
	吉岡 正樹(関西医療学園専門学校)
	安田 実(森ノ宮医療学園専門学校)
	岡田 恭弘(広島聖光学園)
	薬丸 弘雄(鹿児島鍼灸専門学校)

(協力会員校)

赤門鍼灸柔整専門学校

東洋鍼灸専門学校

明治鍼灸大学

関西鍼灸短期大学

四国医療専門学校

## 第2編 調査結果の概要

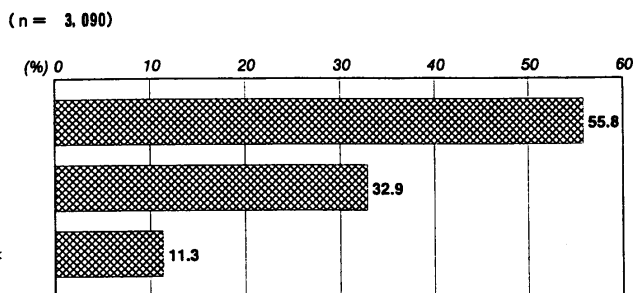
### 1. 調査対象者数と回答数

調査対象者数は各学校の名簿による報告では、10,179件であったが、実際に対象者宛の調査票送付は9,659件であった。転居先不明などの返戻分375件を除き、調査客体数は9,284件となり、回答数は3,090件（回答率33%）であった。

	学 校 名	調査対象数 (A)	転居先不明者数		調査客体数 (C) (A) - (B)	回答数		無回答数		備 考
			実数(B)	百分比 (B/A)		実数(D)	百分比 (D/C)	実数(E)	百分比 (E/C)	
1	北海道鍼灸専門学校	151	14	0.09	137	60	0.44	77	0.56	
2	赤門鍼灸柔整専門学校	342	17	0.05	325	112	0.34	213	0.66	
3	東京医療専門学校	877	11	0.01	866	267	0.31	599	0.69	
4	東洋鍼灸専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	早稲田医療専門学校	406	8	0.02	398	132	0.33	266	0.67	
6	東京医療福祉専門学校	244	11	0.05	233	67	0.29	166	0.71	
7	東京衛生学園専門学校	254	7	0.03	247	92	0.37	155	0.63	
8	日本鍼灸理療専門学校	885	37	0.04	848	296	0.35	552	0.65	
9	長生学園	552	61	0.11	491	173	0.35	318	0.65	
10	日本指圧専門学校	593	12	0.02	581	182	0.31	399	0.69	
11	国際鍼灸専門学校	404	26	0.06	378	148	0.39	230	0.61	
12	両国柔整鍼灸専門学校									該当者なし
13	関東鍼灸専門学校	204	2	0.01	202	73	0.36	129	0.64	
14	湘南医療福祉専門学校	113	1	0.01	112	34	0.30	78	0.70	
15	神奈川衛生学園専門学校	346	24	0.07	322	116	0.36	206	0.64	
16	東海医療学園専門学校	208	4	0.02	204	63	0.31	141	0.69	
17	呉竹鍼灸専門学校	330	17	0.05	313	104	0.33	209	0.67	
18	名古屋鍼灸学校	154	12	0.08	142	52	0.37	90	0.63	
19	中和医療専門学校	469	3	0.01	466	143	0.31	323	0.69	
20	明治鍼灸大学	533	11	0.02	522	145	0.28	377	0.72	
21	佛眼鍼灸理療学校	230	8	0.03	222	86	0.39	136	0.61	
22	行岡鍼灸専門学校	244	17	0.07	227	118	0.52	109	0.48	
23	明治東洋医学院専門学校	839	26	0.03	813	241	0.30	572	0.70	
24	関西鍼灸短期大学	569	25	0.04	544	124	0.23	420	0.77	
25	関西医療学園専門学校	132	1	0.01	131	59	0.45	72	0.55	
26	森ノ宮医療学園専門学校	273	3	0.01	270	84	0.31	186	0.69	
27	広島聖光学園	50	4	0.08	46	30	0.65	16	0.35	
28	四国医療専門学校	161	11	0.07	150	46	0.31	104	0.69	
29	鹿児島鍼灸専門学校	96	2	0.02	94	43	0.46	51	0.54	
	計	9,659	375	0.04	9,284	3,090	0.33	6,194	0.67	

## 2. 調査結果の分析

### (1) 回答者の性別分布



全体では、男性が 55.8%、女性が 32.9%と男性の方が多い。今回調査では、無回答が 1 割以上と高い。平成8年調査では、男性が 65.9%、女性が 33.3%であった。

#### <年齢別>

男性比率が高いのは、「25～29歳」層(61.4%)、女性比率が比較的高いのは「21～24歳」層(43.1%)である。

#### <免許種類別>

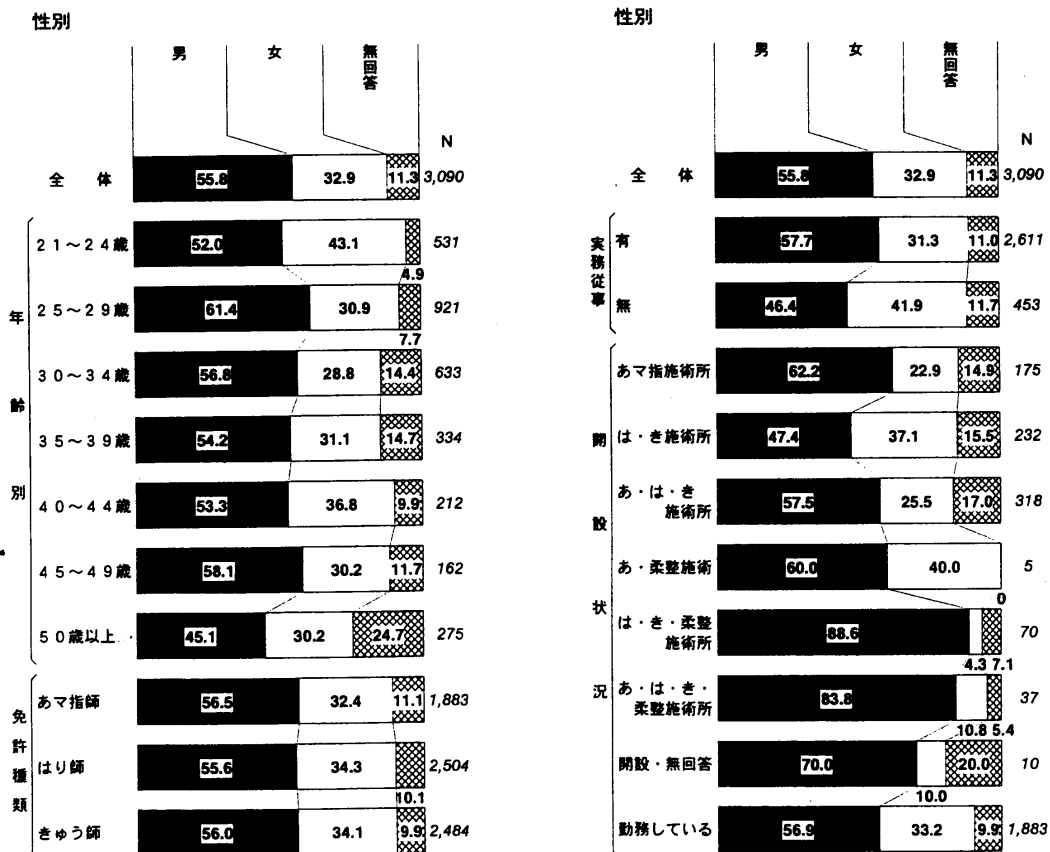
免許種類別では、男性が 5 割台、女性が 3 割台といずれの種類についても同様の傾向となっている。

#### <実務従事別>

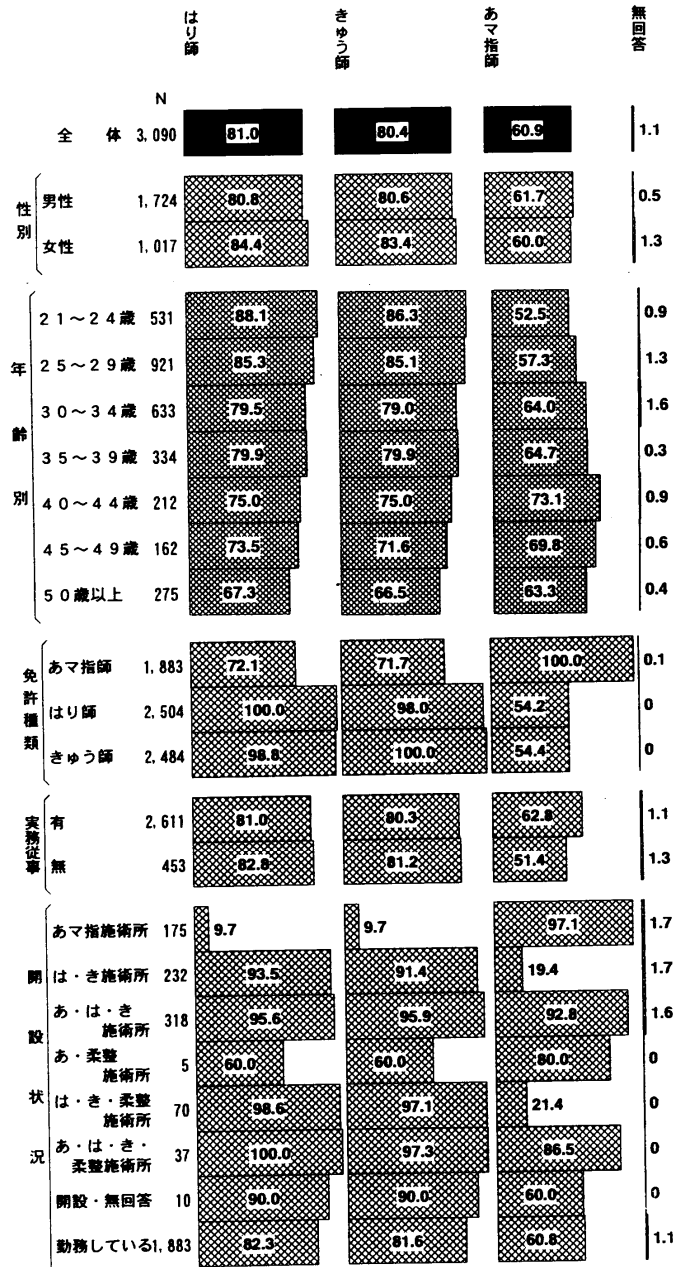
「実務従事有」層では、男性比率が 57.7%と過半数を占め、「実務従事無」層では、男性比率(46.4%)が女性比率(41.9%)より 4.7 ポイント高い。

#### <開設状況別>

「は・き・柔整施術所」層では男性比率が 88.6%と大部分を占めた。



(2) 免許の種別



全体では、「はり師」が81.0%、「きゅう師」が80.4%とほぼ同率で、「あま指師」が60.9%。

平成8年調査(「はり師」80.8%、「きゅう師」80.5%、「あま指師」61.1%)とほぼ同様の分布となった。

<性別>

女性は男性と比べ、「はり師」、「きゅう師」の比率が高い。

<年齢別>

30歳未満層で、「はり師」、「きゅう師」の比率が高く、逆に「あま指師」比率が低い。

50歳以上は、「はり師」、「きゅう師」の比率は全体と比べ低い。

<免許種類>

「きゅう師」は「はり師」の免許を98.8%同時に持ち、「はり師」は「きゅう師」の免許を98.0%同時保有している。「あま指師」は「はり師」と72.1%、「きゅう師」と71.7%の免許の同時保有が大部分となっている。

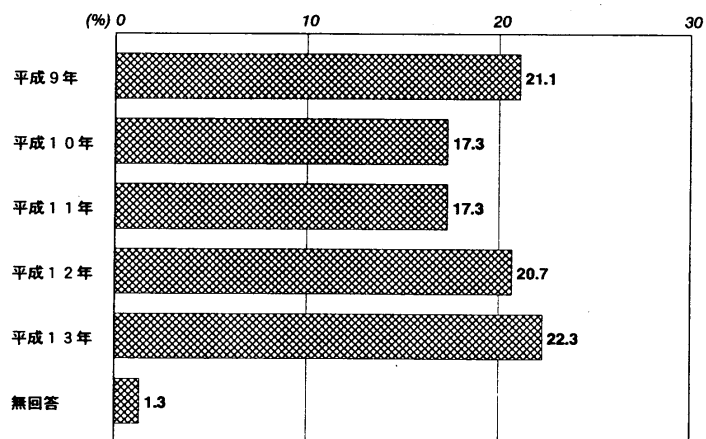


(3) 合格年次

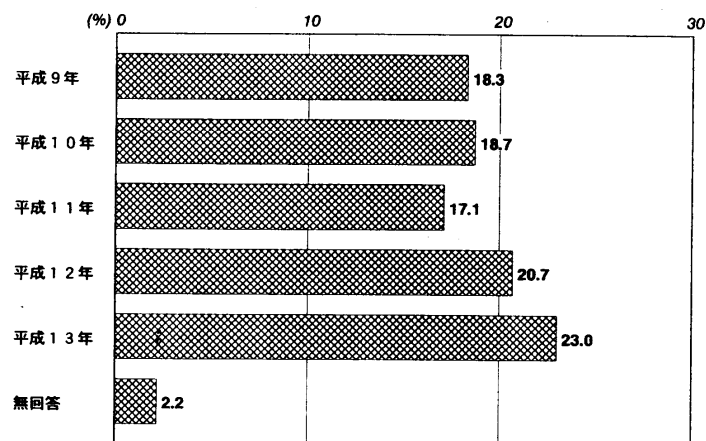
いずれも、平成13年の合格者が最も多い。

	全 体	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	無回答
あま指師	1,883	21.1	17.3	17.3	20.7	22.3	1.3
はり師	2,504	18.3	18.7	17.1	20.7	23.0	2.2
きゅう師	2,484	18.4	18.0	18.0	20.7	23.0	1.9

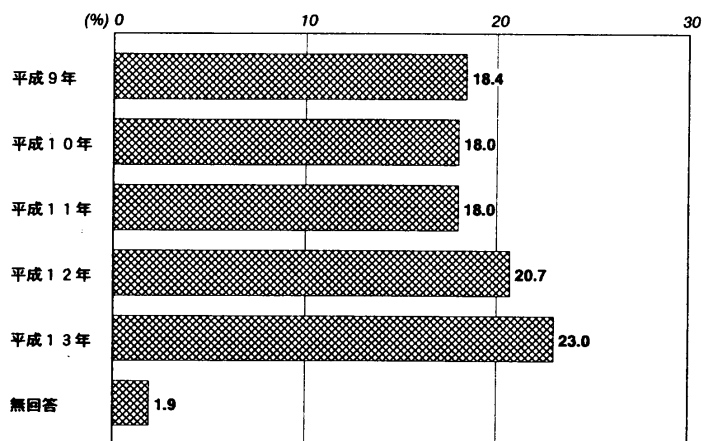
(n = 1,883) あま指師合格年次



(n = 2,504) はり師合格年次

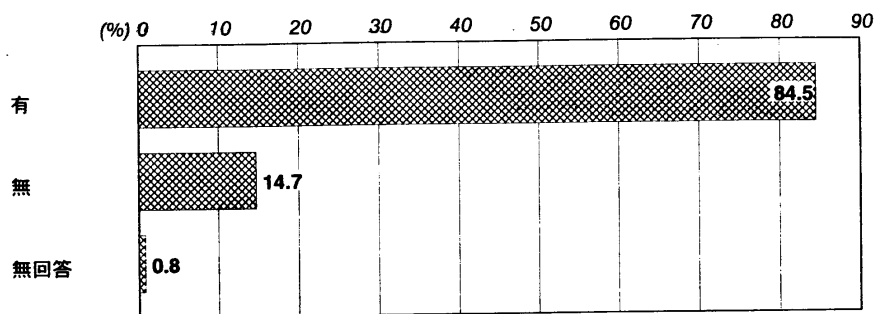


(n = 2,484) きゅう師合格年次

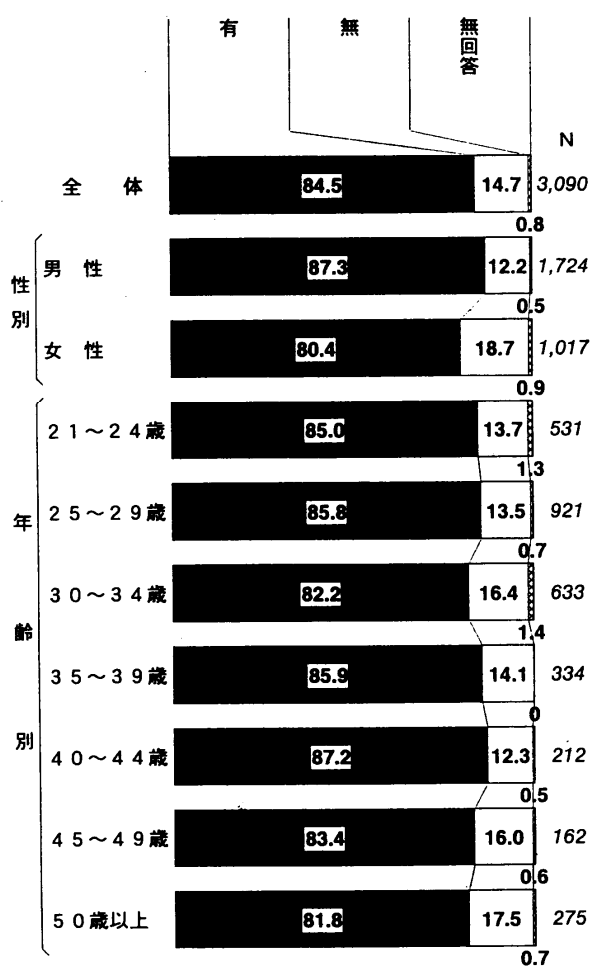


#### (4) 実務に従事の有無

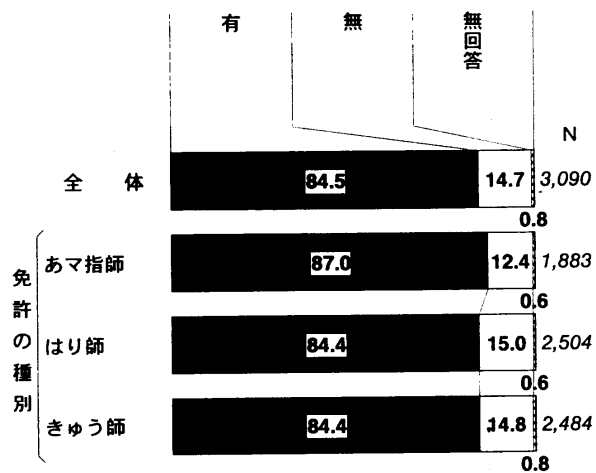
(n = 3,090)



実務に従事の有無



実務に従事の有無



全体では、実務に従事の「有」が84.5%と大部分を占めた。

平成8年調査結果(「有」が84.2%、「無」が15.1%)とほぼ同様である。

<性別>

男性の方が女性より、実務に従事の「有」が高い。

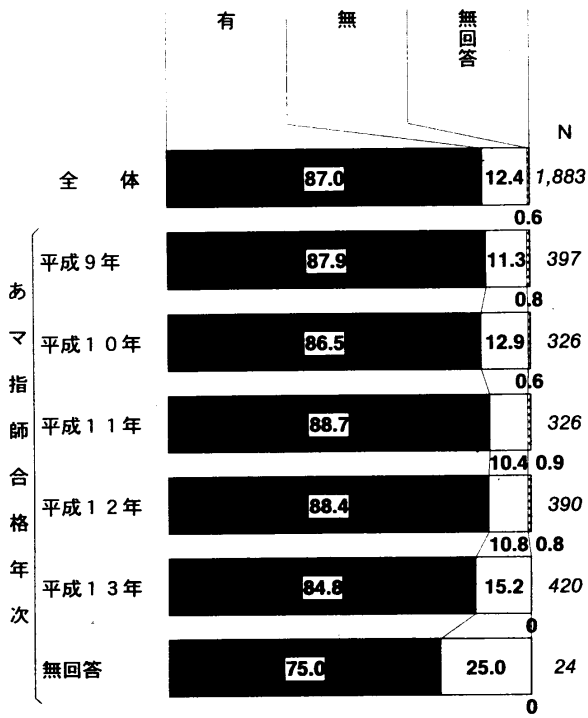
<年齢別>

実務に従事の「有」が最も高いのは、「40~44歳」の層である。

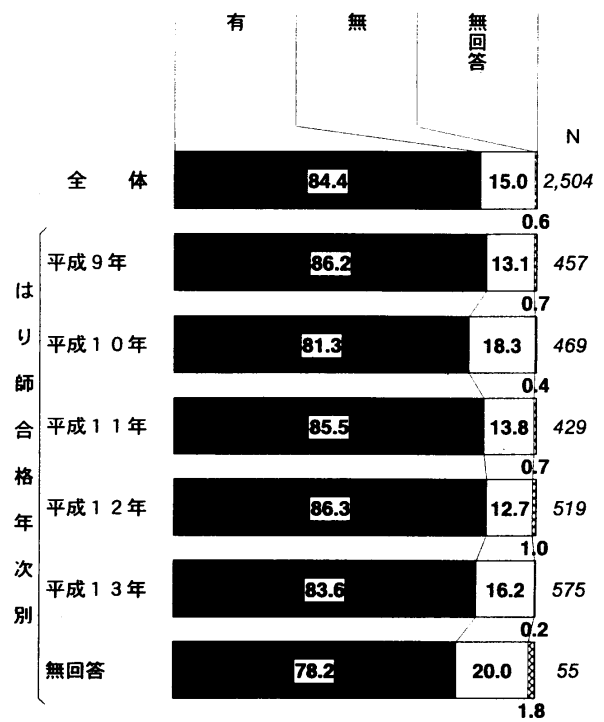
<免許種類別>

いずれの免許でも「有」が大部分を占めている。

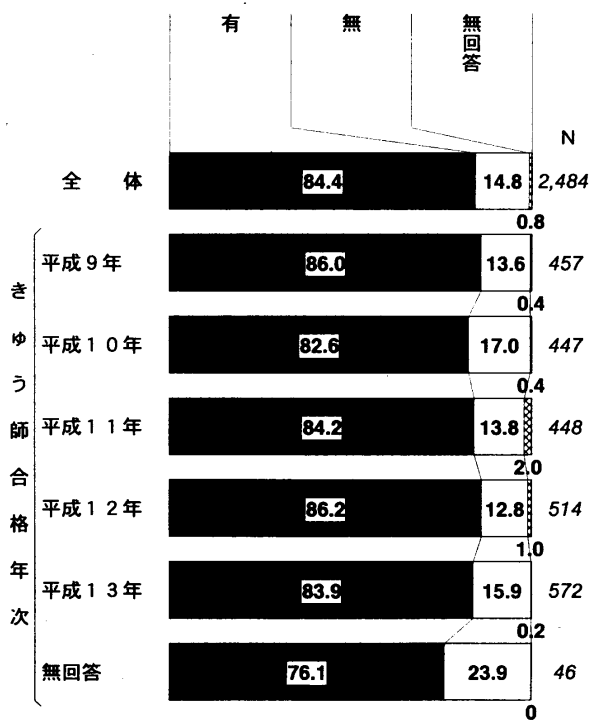
実務に従事の有無



実務に従事の有無

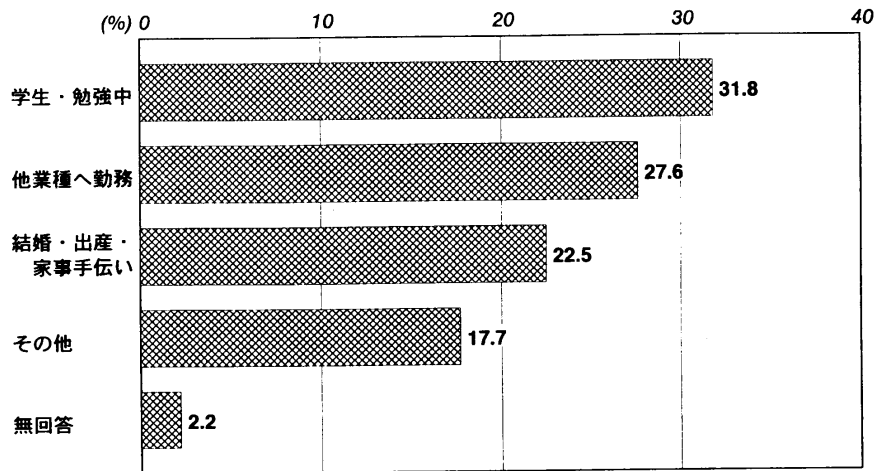


実務に従事の有無

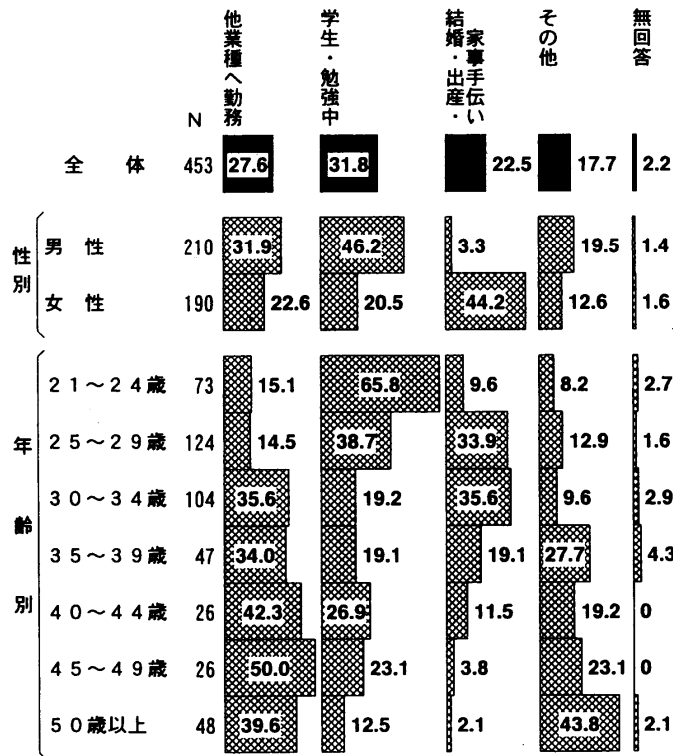


(5) 実務に従事していない理由

(n= 453)



実務に従事していない理由



全体では、実務に従事していない理由として「学生・勉強中」が最も多い。

<性別>

男性は「学生・勉強中」(46.2%)が最も多く、ついで「他業種へ勤務」(31.9%)、女性は、「結婚・出産・家事手伝い」(44.2%)が最も多い。

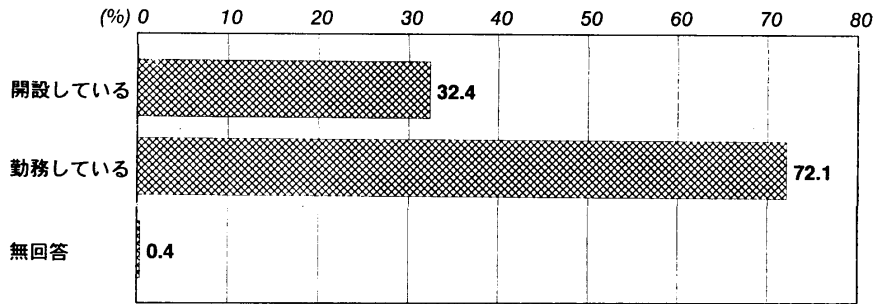
<年齢別>

30歳以上層は「他業種へ勤務」、35歳以上層は「その他」比率、「21~24歳」層は「学生・勉強中」、「25~29歳」層は「学生・勉強中」、「結婚・出産・家事手伝い」、「30~34歳」層は「結婚・出産・家事手伝い」、が全体比率よりそれぞれ高い。

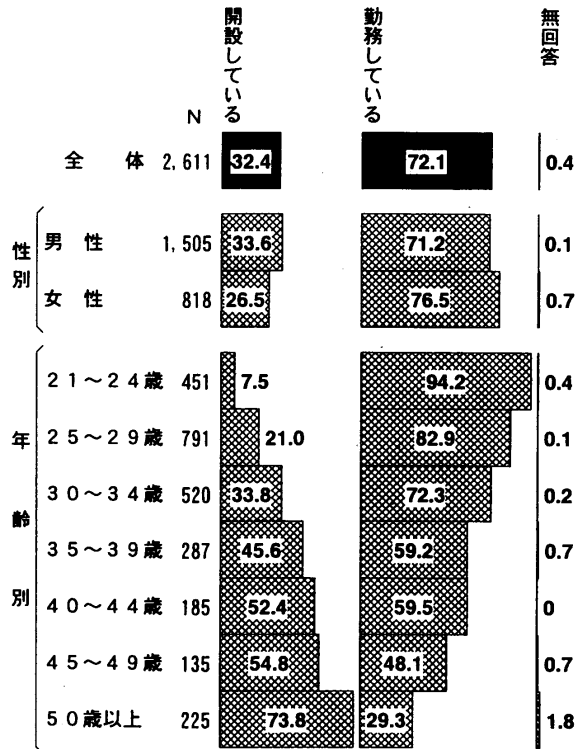
なお、「その他」の主なもの、就職活動中、開業準備中、病気療養中などであった。

(6) 開設・勤務の状況

(n = 2,611)



開設と勤務の別



全体では、「開設している」が32.4%、「勤務している」が72.1%となった。(開設兼勤務も僅かながらいる。)

「開設している」では、平成8年調査(21.3%)と比べて、11.1ポイントの増加となった。

<性別>

開設比率は、男性が33.6%、女性が26.5%と男性の方が7.1ポイント高い。

<年齢別>

加齢と共に開設比率は高くなる傾向がみられる。

(7) 開設している治療院の種別

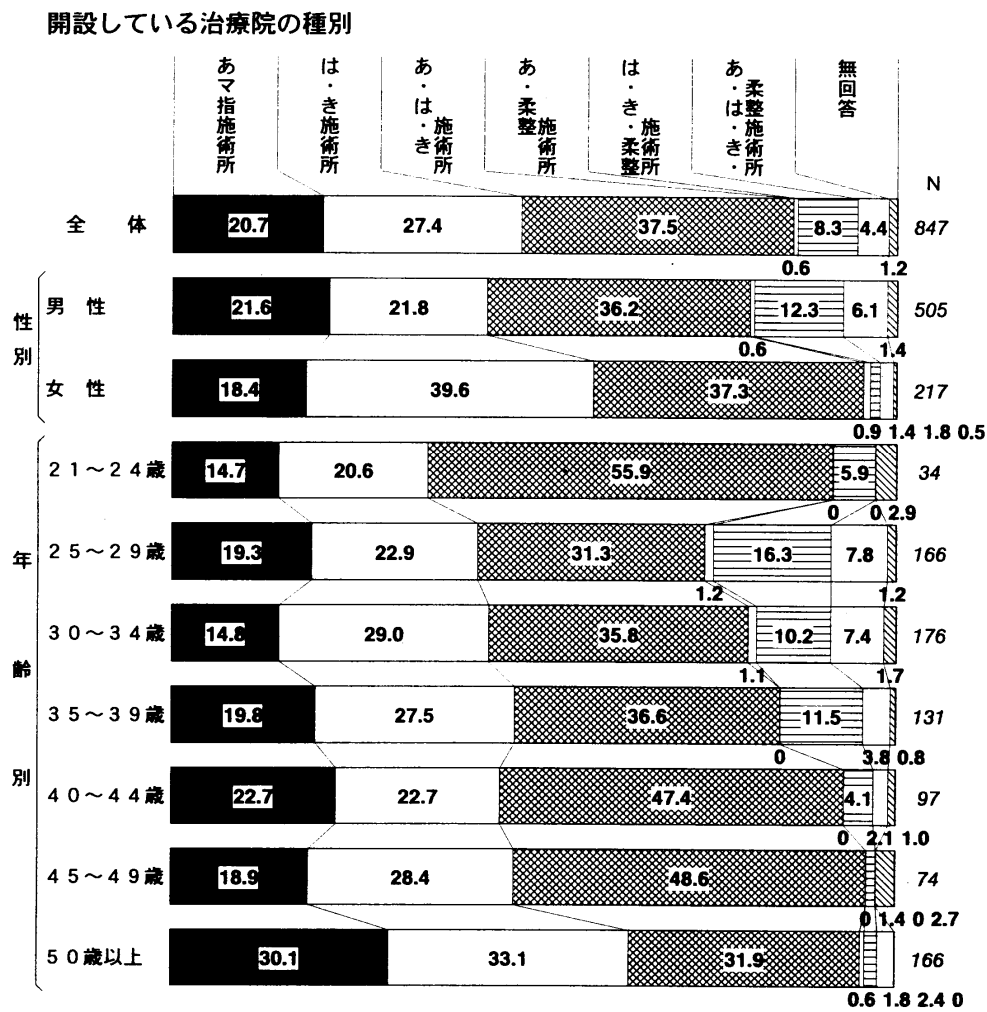
全体で、開設している治療院は「あ・は・き施術所」が最も多い。

<性別>

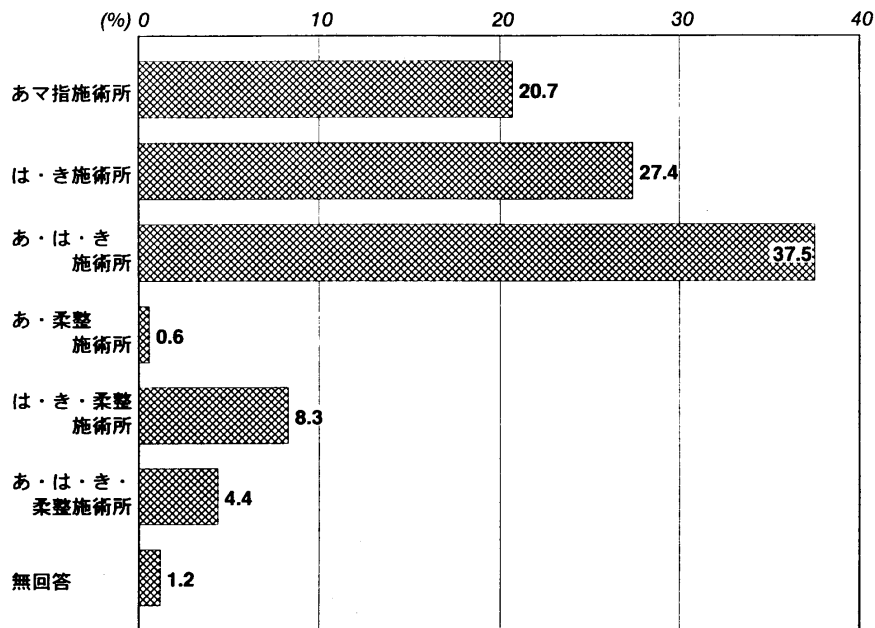
男性は「あ・は・き施術所」、女性は「は・き施術所」の比率が最も高い。

<年齢別>

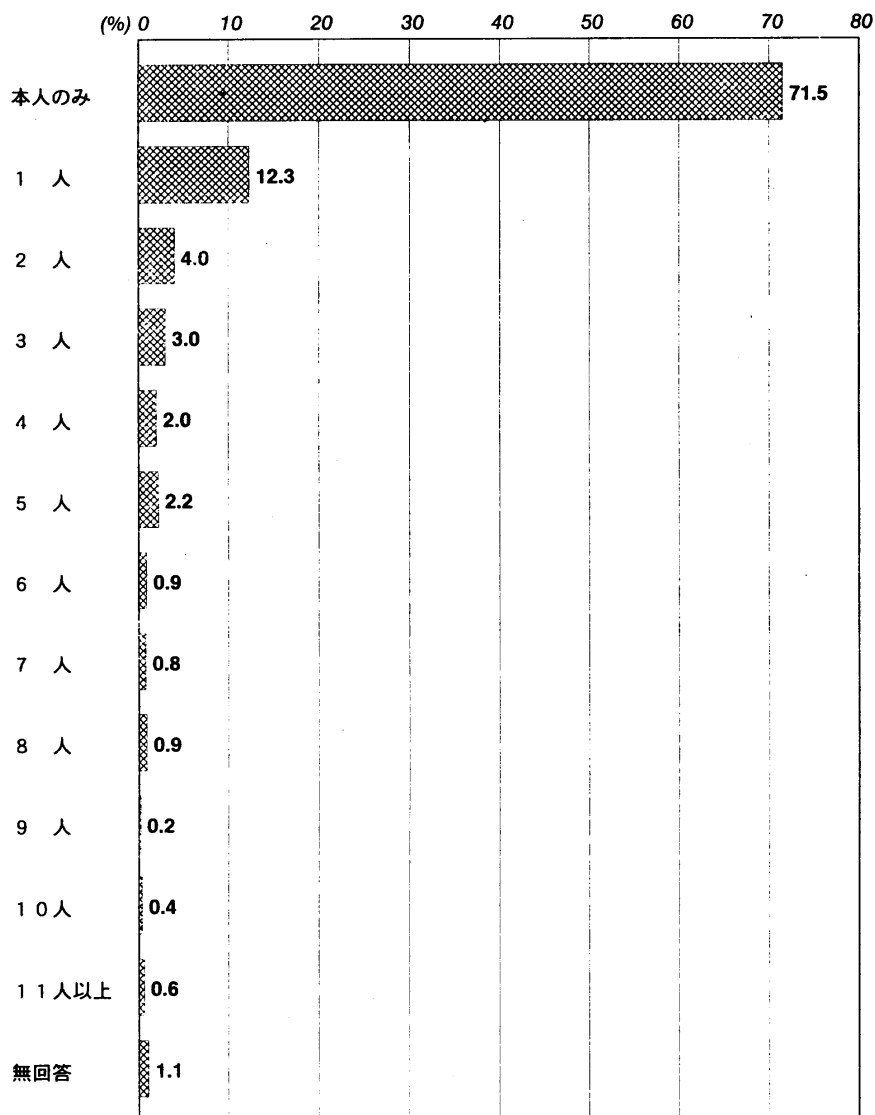
「あマ指施術所」は、ほぼ加齢と共に高くなる傾向がみられる。



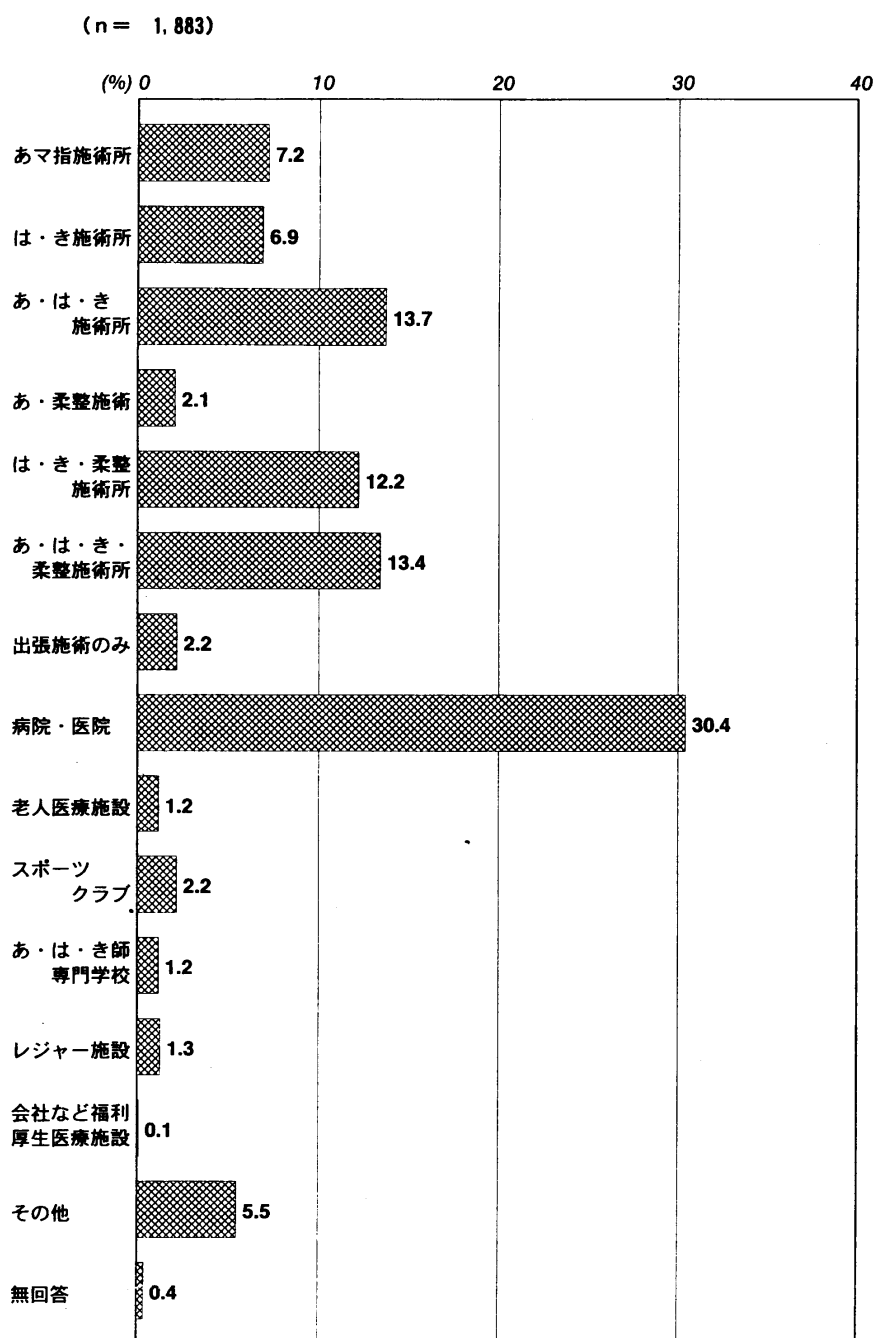
(n = 847) 開設している治療院の種別



(n = 847) 開設治療院の従業員数



### (8) 勤務先の種別



勤務先では、「病院・医院」が 30.4%と最も多く、ついで「あ・は・き施術所」(13.7%)、「あ・は・き柔整施術所」(13.4%)、「は・き柔整施術所」(12.2%)などとなっている。

<性別>

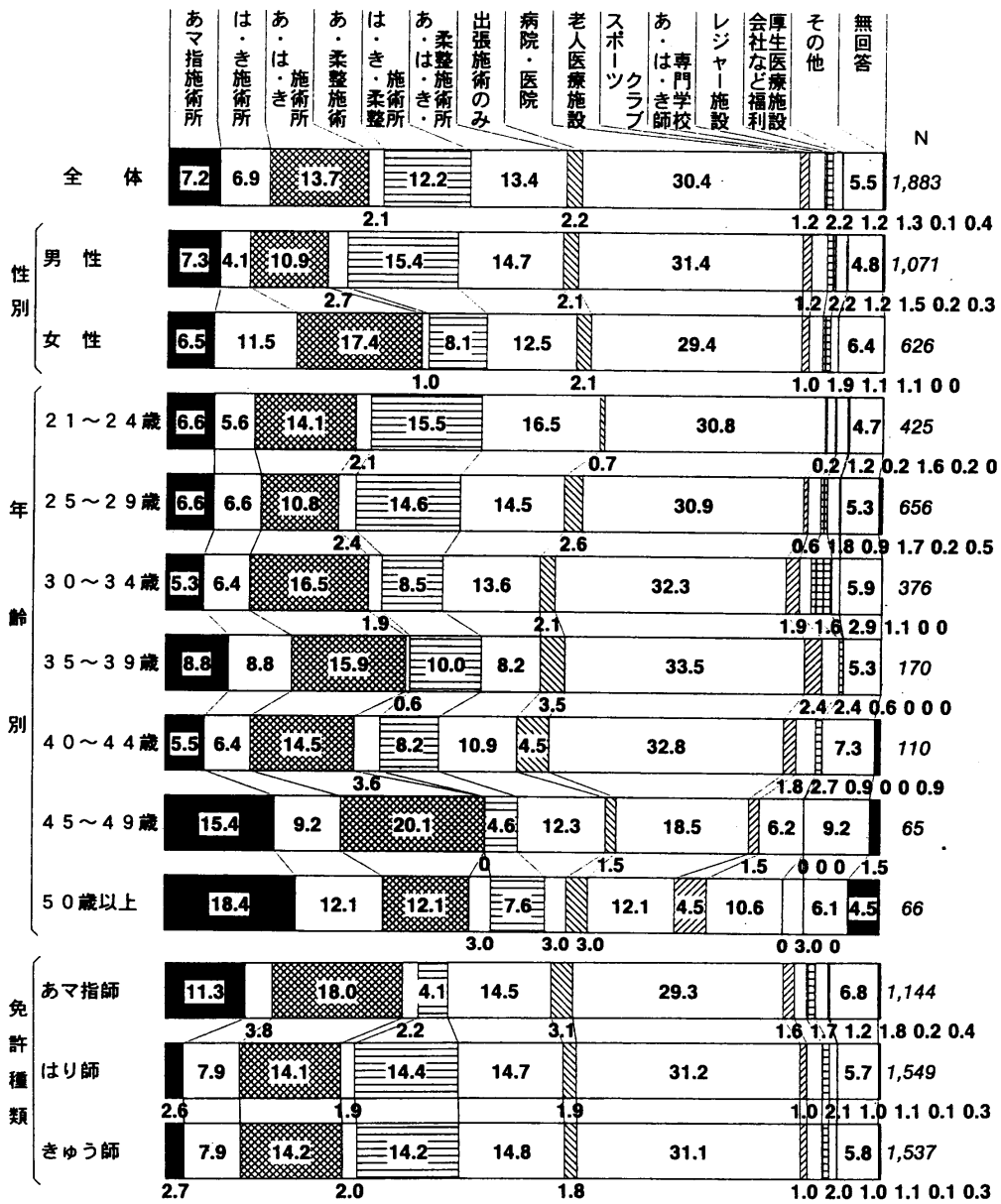
男女共に、「病院・医院」が最も多い。

<年齢別>

概ね、45歳未満層では「病院・医院」が3割台と多い。



勤務先の種別



(9) 報酬または給与

		全 体	1 0 万 円 未 満	1 1 0 5 万 円 未 満	1 2 5 0 万 円 未 満	2 2 0 5 万 円 未 満	2 3 5 0 万 円 未 満	3 3 0 5 万 円 未 満	3 4 5 0 万 円 未 満	4 4 0 5 万 円 未 満	4 5 0 5 万 円 未 満	5 5 0 5 万 円 未 満	5 5 万 円 以 上	無 回 答	標 準 偏 差 平 均 値	
全 体		3,090 100.0	454 14.7	329 10.6	531 17.2	565 18.3	326 10.6	170 5.5	81 2.6	41 1.3	30 1.0	25 0.8	99 3.2	439 14.2	12.8 20.1	
性 別	男性	1,724 100.0	209 12.1	156 9.0	281 16.3	312 18.1	231 13.4	131 7.6	59 3.4	29 1.7	25 1.5	19 1.1	71 4.1	201 11.7	13.2 22.2	
	女性	1,017 100.0	189 18.6	136 13.4	200 19.7	195 19.2	57 5.6	22 2.2	9 0.9	6 0.6	3 0.3	3 0.3	10 1.0	187 18.4	10.1 16.0	
年 齢 別	21～24歳	531 100.0	70 13.2	79 14.9	142 26.7	121 22.8	33 6.2	12 2.3	5 0.9	1 0.2	-	-	2 0.4	66 12.4	8.4 16.3	
	25～29歳	921 100.0	98 10.6	91 9.9	184 20.0	217 23.6	104 11.3	47 5.1	22 2.4	7 0.8	5 0.5	5 0.5	23 2.5	118 12.8	11.3 20.2	
	30～34歳	633 100.0	68 10.7	57 9.0	102 16.1	103 16.3	86 13.6	49 7.7	22 3.5	12 1.9	9 1.4	8 1.3	26 4.1	91 14.4	13.3 22.6	
	35～39歳	334 100.0	57 17.1	29 8.7	38 11.4	53 15.9	39 11.7	21 6.3	15 4.5	6 1.8	8 2.4	4 1.2	19 5.7	45 13.5	15.0 22.5	
	40～44歳	212 100.0	46 21.7	23 10.8	23 10.8	29 13.7	21 9.9	16 7.5	6 2.8	8 3.8	2 0.9	4 1.9	8 3.8	26 12.3	14.7 20.5	
	45～49歳	162 100.0	26 16.0	17 10.5	17 10.5	15 9.3	19 11.7	11 6.8	8 4.9	3 1.9	3 1.9	3 1.9	9 5.6	31 19.1	15.6 22.6	
	50歳以上	275 100.0	86 31.3	33 12.0	22 8.0	22 8.0	24 8.7	9 3.3	3 1.1	4 1.5	3 1.1	3 0.4	1 4.4	12 20.4	56 16.5	14.7
	免 許 種 類	アマ指師	1,883 100.0	275 14.6	185 9.8	290 15.4	378 20.1	208 11.0	130 6.9	55 2.9	32 1.7	21 1.1	15 0.8	62 3.3	232 12.3	12.8 20.8
はり師		2,504 100.0	364 14.5	273 10.9	440 17.6	472 18.8	255 10.2	131 5.2	59 2.4	33 1.3	23 0.9	17 0.7	84 3.4	353 14.1	12.7 20.0	
きゅう師		2,484 100.0	360 14.5	271 10.9	437 17.6	466 18.8	251 10.1	135 5.4	58 2.3	32 1.3	22 0.9	16 0.6	87 3.5	349 14.0	12.8 20.0	
実 務 従 事	有	2,611 100.0	425 16.3	323 12.4	513 19.6	550 21.1	317 12.1	165 6.3	79 3.0	40 1.5	29 1.1	23 0.9	92 3.5	55 2.1	12.7 20.1	
	無	453 100.0	23 5.1	4 0.9	13 2.9	11 2.4	9 2.0	3 0.7	1 0.2	1 0.2	1 0.2	2 0.4	7 1.5	378 83.4	16.3 21.0	
開 設 状 況	アマ指施術所	175 100.0	47 26.9	19 10.9	21 12.0	21 12.0	15 8.6	11 6.3	10 5.7	5 2.9	5 2.9	5 2.9	9 5.1	7 4.0	15.9 21.0	
	は・き施術所	232 100.0	81 34.9	39 16.8	35 15.1	11 4.7	22 9.5	13 5.6	9 3.9	3 1.3	1 0.4	2 0.9	14 6.0	2 0.9	15.1 17.1	
	あ・は・き施術所	318 100.0	82 25.8	35 11.0	38 11.9	36 11.3	30 9.4	25 7.9	14 4.4	12 3.8	7 2.2	3 0.9	24 7.5	12 3.8	16.2 21.5	
	あ・柔整・施術所	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 60.0	- 36.6	
	は・き・柔整施術所	70 100.0	8 11.4	4 5.7	5 7.1	5 7.1	4 5.7	6 8.6	5 7.1	5 7.1	2 2.9	4 5.7	20 28.6	2 2.9	19.0 35.3	
	あ・は・き・柔整施術所	37 100.0	3 8.1	3 8.1	3 8.1	4 10.8	2 5.4	3 8.1	1 2.7	-	1 2.7	1 2.7	12 32.4	4 10.8	19.9 34.7	
	開設・無回答	10 100.0	1 10.0	-	1 10.0	2 20.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	-	-	3 30.0	-	17.5 34.8
	勤務している	1,883 100.0	222 11.8	233 12.4	437 23.2	493 26.2	264 14.0	116 6.2	44 2.3	16 0.8	13 0.7	9 0.5	15 0.8	21 1.1	9.9 19.4	

全体で平均 20.1 万円となった。

平成 8 年調査結果でも、平均 20.4 万円とほぼ同様であった。

<性別>

男性が 22.2 万円、女性が 16.0 万円と男性の方が 6.2 万円高い。

<年齢別>

25 歳から 50 歳未満層はいずれも 20 万円以上であるが、それ以外の層では 20 万円未満と低い。

報酬または給与

	全 体	1 0 万 円 未 満	1 1 0 5 万 円 以 上 未 満	1 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 万 円 以 上	無 回 答	標 準 偏 差 平 均 値	
全 体	1,883 100.0	275 14.6	185 9.8	290 15.4	378 20.1	208 11.0	130 6.9	55 2.9	32 1.7	21 1.1	15 0.8	62 3.3	232 12.3	12.8 20.8	
あ ま 指 師 合 格 年 次	平成9年	397 100.0	43 10.8	34 8.6	51 12.8	67 16.9	47 11.8	39 9.8	22 5.5	14 3.5	8 2.0	5 1.3	22 5.5	45 11.3	14.2 24.4
	平成10年	326 100.0	35 10.7	25 7.7	45 13.8	59 18.1	48 14.7	30 9.2	13 4.0	6 1.8	3 0.9	5 1.5	14 4.3	43 13.2	13.2 23.3
	平成11年	326 100.0	49 15.0	25 7.7	54 16.6	65 19.9	46 14.1	20 6.1	12 3.7	4 1.2	5 1.5	4 1.2	8 2.5	34 10.4	12.4 21.1
	平成12年	390 100.0	52 13.3	45 11.5	66 16.9	95 24.4	37 9.5	22 5.6	4 1.0	6 1.5	4 1.0	1 0.3	12 3.1	46 11.8	12.0 19.8
	平成13年	420 100.0	94 22.4	53 12.6	73 17.4	89 21.2	26 6.2	17 4.0	4 1.0	1 0.2	1 0.2	-	5 1.2	57 13.6	10.3 16.0
	無回答	24 100.0	2 8.3	3 12.5	1 4.2	3 12.5	4 16.7	2 8.3	-	1 4.2	-	-	1 4.2	7 29.2	13.7 22.6

報酬または給与

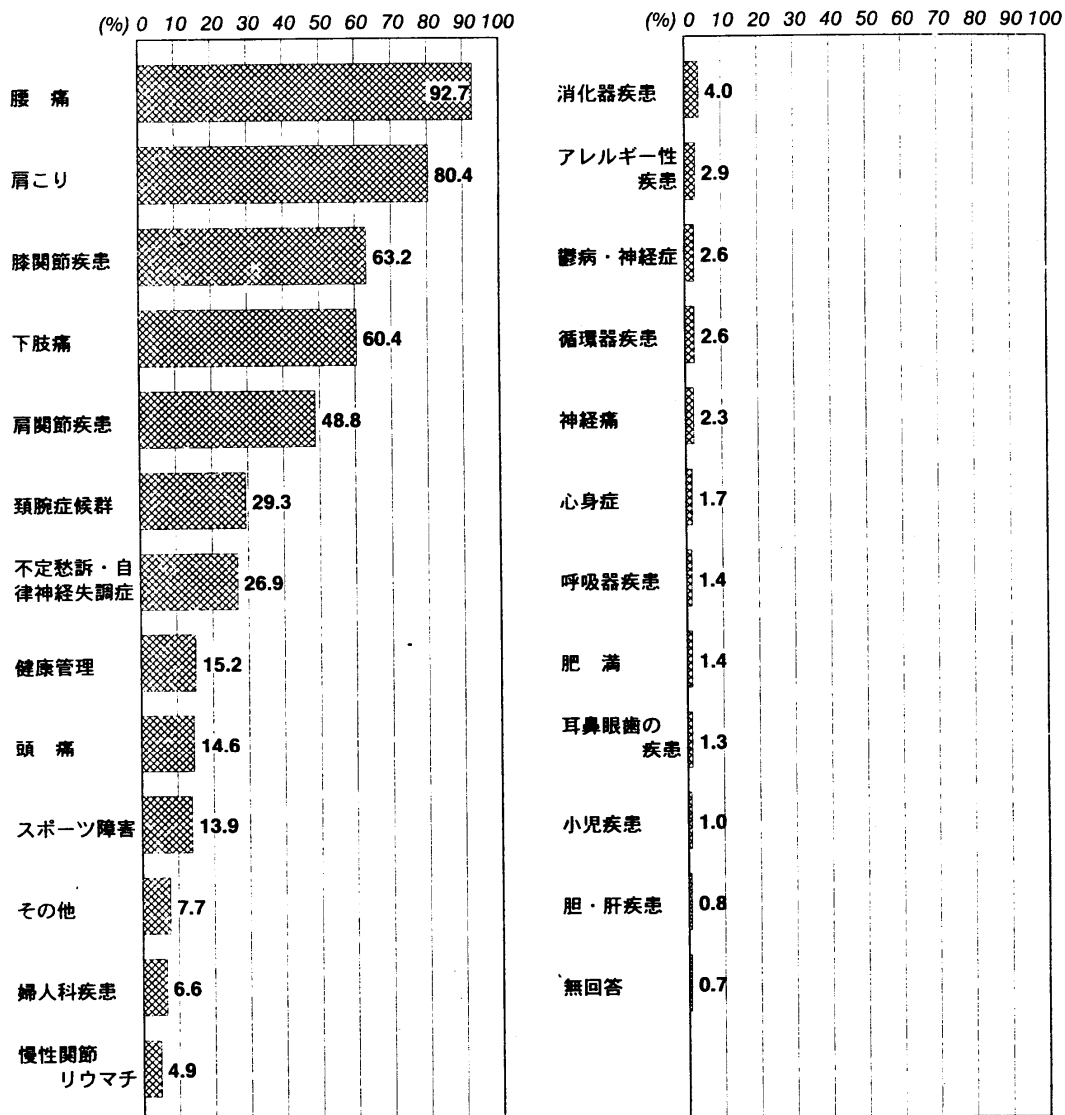
	全 体	1 0 万 円 未 満	1 1 0 5 万 円 以 上 未 満	1 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 万 円 以 上	無 回 答	標 準 偏 差 平 均 値	
全 体	2,504 100.0	364 14.5	273 10.9	440 17.6	472 18.8	255 10.2	131 5.2	59 2.4	33 1.3	23 0.9	17 0.7	84 3.4	353 14.1	12.7 20.0	
は り 師 合 格 年 次 別	平成9年	457 100.0	55 12.0	40 8.8	59 12.9	78 17.1	57 12.5	32 7.0	20 4.4	14 3.1	11 2.4	6 1.3	30 6.6	55 12.0	14.8 24.1
	平成10年	469 100.0	51 10.9	47 10.0	73 15.6	77 16.4	60 12.8	32 6.8	15 3.2	5 1.1	3 0.6	8 1.7	24 5.1	74 15.8	13.8 22.4
	平成11年	429 100.0	62 14.5	39 9.1	78 18.2	80 18.6	48 11.2	26 6.1	11 2.6	5 1.2	6 1.4	3 0.7	10 2.3	61 14.2	12.2 20.2
	平成12年	519 100.0	86 16.6	62 11.9	97 18.7	114 22.0	44 8.5	22 4.2	7 1.3	7 1.3	2 0.4	-	12 2.3	66 12.7	11.3 18.2
	平成13年	575 100.0	104 18.1	84 14.6	116 20.2	114 19.8	40 7.0	16 2.8	6 1.0	2 0.3	1 0.2	-	7 1.2	85 14.8	10.0 16.2
	無回答	55 100.0	6 10.9	1 1.8	17 30.9	9 16.4	6 10.9	3 5.5	-	-	-	-	1 1.8	12 27.8	9.4 19.5

報酬または給与

	全 体	1 0 万 円 未 満	1 1 0 5 万 円 以 上 未 満	1 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 2 0 5 万 円 以 上 未 満	2 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 3 0 5 万 円 以 上 未 満	3 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 4 0 5 万 円 以 上 未 満	4 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 0 5 万 円 以 上 未 満	5 5 万 円 以 上	無 回 答	標 準 偏 差 平 均 値	
全 体	2,484 100.0	360 14.5	271 10.9	437 17.6	466 18.8	251 10.1	135 5.4	58 2.3	32 1.3	22 0.9	16 0.6	87 3.5	349 14.0	12.8 20.0	
き ゅ う 師 合 格 年 次	平成9年	457 100.0	55 12.0	37 8.1	61 13.3	78 17.1	58 12.7	32 7.0	21 4.6	14 3.1	11 2.4	6 1.3	31 6.8	53 11.6	14.8 24.4
	平成10年	447 100.0	50 11.2	47 10.5	71 15.9	75 16.8	53 11.9	32 7.2	14 3.1	4 0.9	2 0.4	7 1.6	24 5.4	68 15.2	13.9 22.2
	平成11年	448 100.0	66 14.7	40 8.9	80 17.9	79 17.6	52 11.6	30 6.7	11 2.5	5 1.1	6 1.3	3 0.7	13 2.9	63 14.1	12.5 20.4
	平成12年	514 100.0	82 16.0	62 12.1	97 18.9	116 22.6	42 8.2	22 4.3	7 1.4	7 1.4	2 0.4	-	12 2.3	65 12.6	11.3 18.3
	平成13年	572 100.0	103 18.0	84 14.7	114 19.9	114 19.9	40 7.0	16 2.8	5 0.9	2 0.3	1 0.2	-	7 1.2	86 15.0	10.0 16.2
	無回答	46 100.0	4 8.7	1 2.2	14 30.4	4 8.7	6 13.0	3 6.5	-	-	-	-	-	14 30.4	7.7 19.1

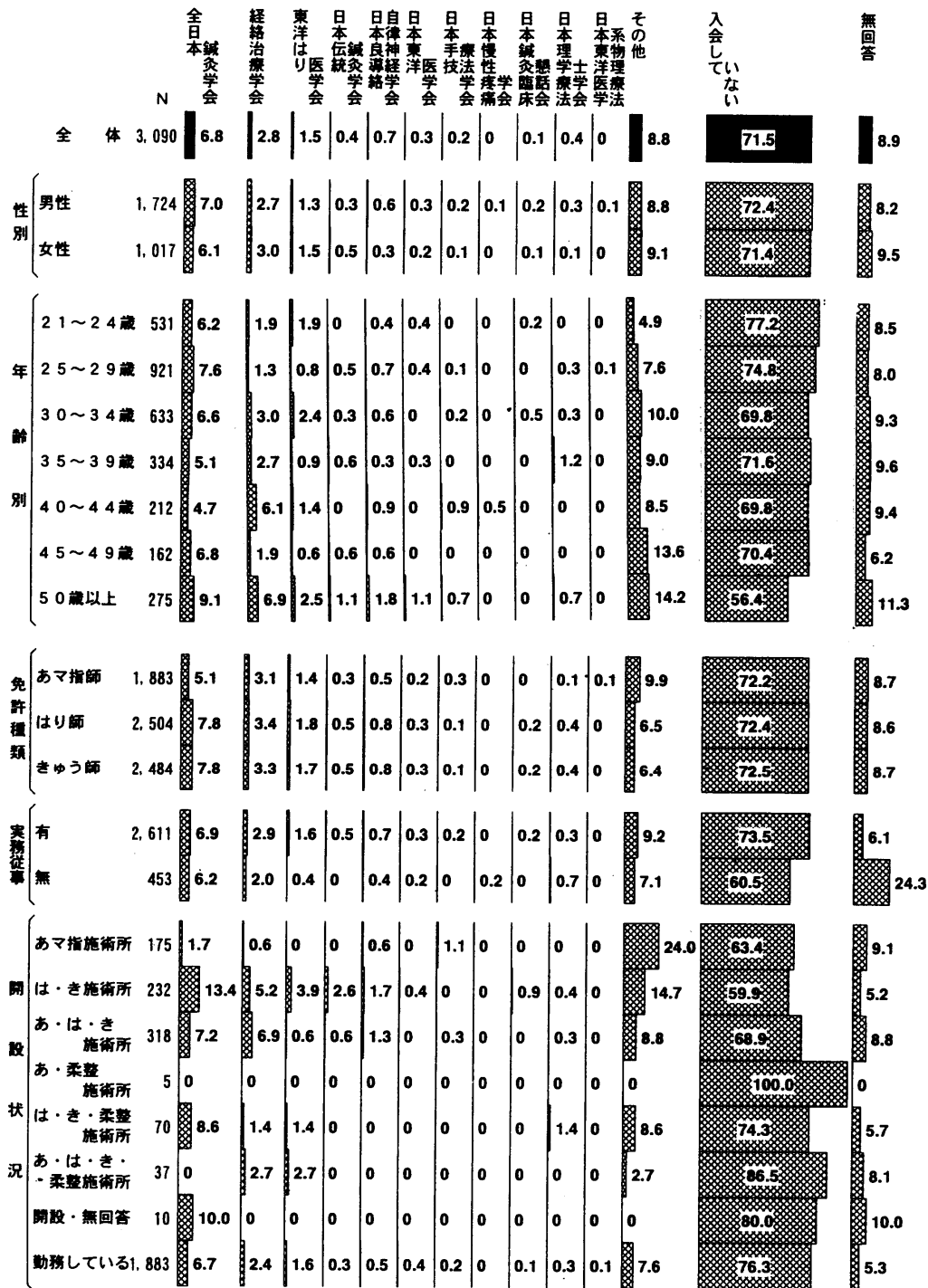
(10) 取扱患者の主な症状

(n = 2,611)



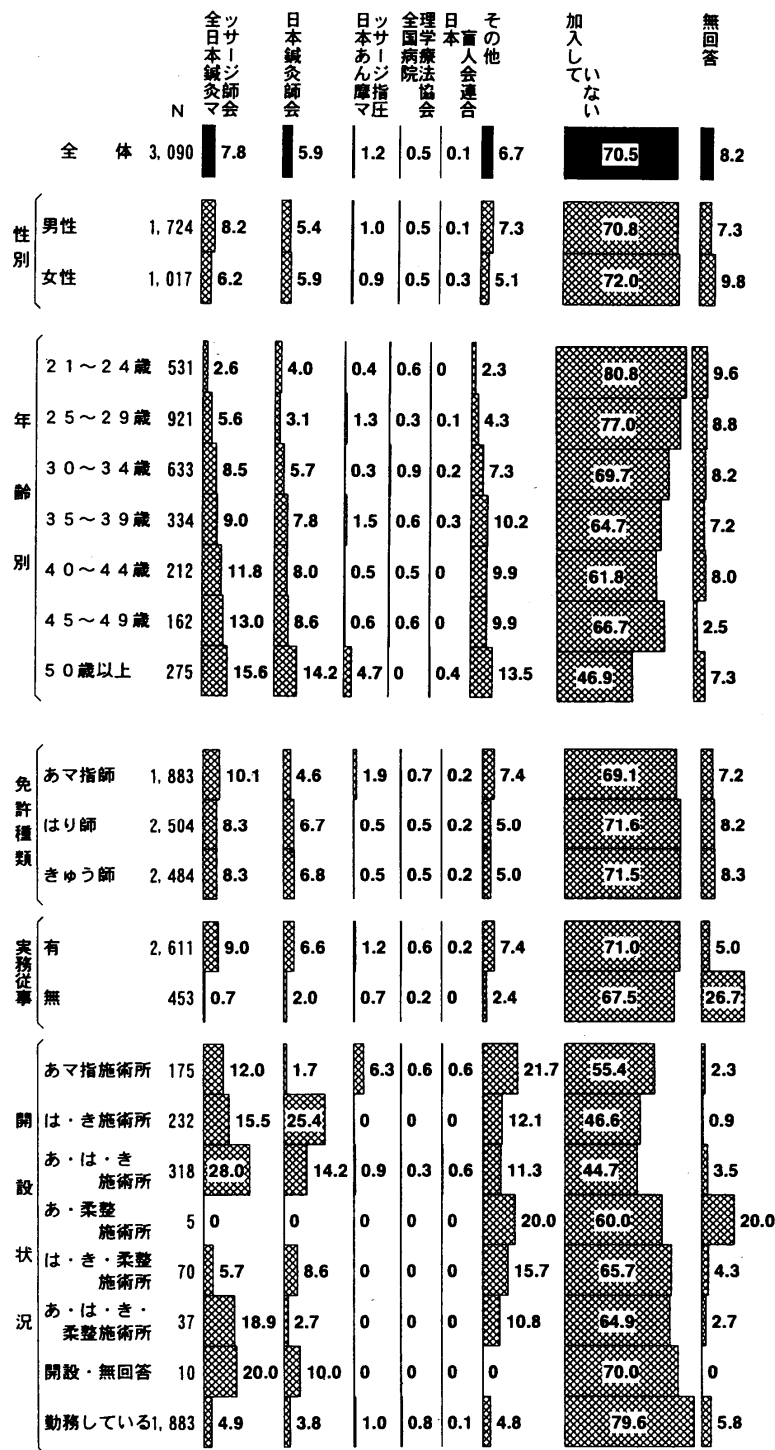
「腰痛」(92.7%)、「肩こり」(80.4%)、「膝関節疾患」(63.2%)、「下肢痛」(60.4%)  
 がいずれも5割以上と主な症状となっている。  
 平成8年調査でも、ほぼ同様の結果がみられた。

(11) 学会等の入会状況



学会等への入会比率は、19.6%であり、平成8年調査(21.1%)とほぼ同程度であった。主なものとしては、「全日本鍼灸学会」(6.8%)が最も高く、ついで「経絡治療学会」(2.8%)、「東洋はり医学会」(1.5%)などとなった。

(12) 業界団体の加入状況



業界団体への加入比率は、21.3%となっており、平成8年調査は13.1%で今回は8.2ポイントの上昇となった。

主なものとしては、「全日本鍼灸マッサージ師会」(7.8%)が最も高く、ついで「日本鍼灸師会」(5.9%)などとなった。